

ちば中学生県議会の今後のあり方検討 ワーキンググループ（第3回） 次第

日時：令和6年9月20日（金）

15：30～

場所：議会運営委員会室

1 開 会

2 代替案の個別検討

3 そ の 他

4 閉 会

他都道府県の出前講座

		名 称	参加議員	参加議員の選出等
1	山形県	生徒・学生と県 議会議員との意 見交換会	議長または副議長 1名 広報・広聴委員会 委員 2名 会派 2名 計 5名	・ <u>学校所在地の選挙区選出議員以外から選定</u> ・ 会派からの推薦は、所属議員数の比率で会派ごとの人数 を算出したうえで各会派で選定
2	栃木県	～とちぎの未来 を考える～ 栃木 県議会 県政ミ ーティングの開催 について	議長、副議長、会派から 4名 計 6名	・ <u>学校所在地の選挙区選出議員以外から選定</u> ・ 会派からの推薦は、所属議員数の比率で会派ごとの人数 を算出したうえで、各会派で選定
3	群馬県	G A C H i 高校 生×県議会議員	各会派から 1～4名	・ <u>学校所在地の選挙区選出議員以外から選定</u> ・ 会派からの推薦は、特別委員割当ての原則に基づき会派 ごとの人数を算出したうえで、各会派で選定
4	静岡県	県議会高校出前 講座	生徒 7人に対し議員 1名	・ <u>学校所在地の選挙区選出議員以外から選定</u> ・ 会派からの推薦は、所属議員数の比率で会派ごとの人数 を算出したうえで、各会派で選定 ・ 会派は偏りがないように調整
5	三重県	みえ県議会出前 講座	広聴広報会議委員 2名	・ <u>学校所在地の選挙区選出議員以外から選定</u> ・ 会派は偏りがないように調整
6	京都府	出前高校生議会	議長または副議長、広報広報会 議の委員を含む 7～8名	・ <u>学校所在地の選挙区選出議員以外から選定</u> ・ 会派からの推薦は、所属議員数の比率で会派ごとの人数 を算出したうえで、各会派で選定
7	大阪府	大阪府議会出前 授業	広報委員会正副委員長及び委員 計 4名	・ <u>学校所在地の選挙区選出議員以外から選定</u> ・ 会派は偏りがないように調整
8	宮崎県	こんにちは！県 議会です	広報委員会の委員 1名 同行する広報委員以外の会派 1名 計 2名	・ <u>学校所在地の選挙区選出議員以外から選定</u> ・ 会派は偏りがないように調整
9	富山県	高等学校等での 出前講座	広報編集委員会 委員 1名 各会派 1名以上	・ <u>学校所在地の選挙区選出議員も参加可能</u> ・ 会派は偏りがないように調整
10	大分県	議員出前講座	広報委員 1名 同行する広報委員以外の会派 1名 計 2名	・ <u>学校所在地の選挙区選出議員も参加可能</u>
11	沖縄県	沖縄県議会高校 等出前講座	学校の希望に応じて決定	・ <u>学校所在地の選挙区選出議員も参加可能</u> ・ 会派からの推薦は、所属議員数の比率で会派ごとの人数 を算出したうえで、各会派で選定

議 員 出 前 講 座

1 内容

議員が学校へ出向いて「県議会の役割と仕組み」などをテーマに、県議会の仕組や議員の仕事などを説明し、質疑応答などで生徒と意見交換をする。

2 メリット・デメリット

- 議員と生徒の意見交換を中心に実施できる。(議員が主体的)
- 参加議員の選定が難しい。

3 検討項目

①対象 ②規模 ③実施すべき理由 ④実施する際の懸念事項や課題

4 課題

- 対象を小・中・高等学校などどうするか。
- 規模を「少数」・「クラス単位」・「全校」などどうするか。
- 実施時期をどうするか。
- テーマの選定方法をどうするか。
- 参加議員の選定方法をどうするか。

【メモ欄】

県議会体験会

1 内容

議場見学を行うとともに、議員代表から県議会についての説明を行う。
その後、人数によってはグループに分かれて議員と意見交換会を行う。

2 メリット・デメリット

- 校外学習や社会科見学に組み込みやすい。
- 参加議員の選定が難しい。

3 検討すべき課題

- 対象を小・中・高等学校などどうするか。
- 実施時期をどうするか。
- 参加議員の選定方法をどうするか。

【メモ欄】

高 校 生 県 議 会

1 内容

次代を担う高校生が千葉県に関する質問をし、答弁は関係課長が行う。

2 メリット・デメリット

- 疑似体験をすることによる意識向上が期待できる。
- 議員が主体的に実施できない。

3 検討すべき課題

- 対象は高校生で良いか。
- 生徒の役割、質問内容をどうするか。
- 議員の関わり方をどうするか。

【メモ欄】